区長記者発表資料

港区 Minato City

令和 8 年 11 月 17 日

# MINATO イノベーション×パートナーズ(MIP)第 1 号が決定

# 「生成 AI」で補助金審査業務を効率化

区は、区が抱える課題と民間事業者の優れた製品・サービスを結び付け、区が認定することで課題の迅速な解決を目指す 23 区初の制度「MINATO イノベーション×パートナーズ（MIP)」の第 1 号として、生成ＡＩを活用した書類確認等の業務を支援する株式会社 LayerX の「Ai Workforce」を製品認定しました。実証実験では、書類の確認にかかる時間を約半分に削減できることを確認しました。今後、実際の補助金業務への導入を進め、職員が区民対応や審査の判断など、職員にしかできない業務に時間を振り向けられるようにします。

## 1　バラバラの申請書類を、生成ＡＩがまとめてチェック

これまで職員が目視で一つひとつ照合していた申請書、見積書、領収書等を、生成ＡＩがまとめて読み取り、品目や金額を照合します。確認が必要な箇所と根拠を「一致」「不一致」「要確認」の３区分で示し、最終的な判断は職員が行います。

| 区の課題 ▶ | ＡＩが一次確認 ▶ | 職員が最終判断 ▶ | 効果 |
|---|---|---|---|
| 申請書、見積書、領収書等を職員が目視で一つひとつ照合<br>**年間約 264 時間**<br>（2 事業） | 複数の書類をＡＩがまとめて読み取り、品目や金額を照合。結果を「一致」「不一致」「要確認」に分け、根拠とともに表示 | ＡＩが示した要確認箇所を中心に、職員が根拠書類を確認<br>最終的な判断は職員が実施 | **確認時間が約半分に**<br>年間 264 時間<br>→135 時間<br>（約 50％削減） |

## 2　実証で確認時間を約半分に削減

令和 8 年 8 月 31 日から 10 月２日まで、保育課と学務課の補助金業務で実証しました。

| | 年間業務時間（現行→導入後） | 削減時間（削減率） |
|---|---|---|
| 保育課 | 234 時間 → 121 時間 | 113 時間（48％） |
| 学務課 | 30 時間 → 14 時間 | 16 時間（53％） |
| **合計** | **264 時間 → 135 時間** | **129 時間（49％）** |



職員が書類をアップロードすると、ＡＩの判定結果と根拠となる書類が画面上に並べて表示されます。職員からは「確認すべき書類がピンポイントで示されるため、審査が楽になった」との声がありました。

（左図：確認画面のイメージ　※生成ＡＩで作成しています）

## 3　今後について

実証を行った保育課及び学務課の補助金業務への導入を進めます。また、書類の確認・照合を伴う他の補助金、助成金及び給付金等への横展開を検討し、全庁的な業務時間の削減につなげます。

【問合せ先】
企画経営部　ＡＩ戦略担当課長　　電話：03-3578-2202

つながる港、つなげる未来
港区は令和９年３月15日に区政80周年を迎えます